

# 慶應義塾大学医学部篤志会会員で死後ご献体いただいた 方々の診療情報を用いた研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 慶應義塾大学医学部形成外科 職名 教授

氏名 貴志 和生

実務責任者 所属 慶應義塾大学医学部形成外科 職名 特任准教授

氏名 土佐 泰祥

連絡先電話番号 03-5363-3814(医局直通)

このたび当院では、慶應義塾大学医学部篤志会会員で、死後、ご献体いただいた方々の解剖献体を対象に、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、ご遺族への新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれないご遺族は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

## 1 対象となる方

倫理委員会で許可された日から 2026 年 12 月 31 日までの間に、慶應義塾大学医学部篤志会を通じ慶應義塾大学医学部解剖学教室にご献体頂いた方

## 2 研究課題名

承認番号 20221149

研究課題名 献体遺体を用いた頭蓋顎顔面、体幹、四肢における口  
唇口蓋裂治療などに関わる組織の構造解明

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部 解剖実習室および準備室

4 本研究の意義、目的、方法

皮膚は全身を覆っている大きな臓器です。外傷や手術などに際し、その構造が一旦失われますが、私たち形成外科医はもとの自然な形態を再現することを目的とした手術・治療を行ってきております。その遂行のためには、的確な治療法の選択という判断が手術中に求められます。そして解剖学的な理解を深めることにより、より安全で、より有効的な手術を進めることが可能となります。本研究では献体遺体を用いた頭蓋顎顔面、体幹、四肢に関する肉眼解剖を行うことで、正確な解剖学的構造についての理解を深めることを目的とします。臨床の現場で人間の解剖を詳細に観察することはできず、ご献体を用いてのみこの研究を行うことができます。

5 協力をお願いする内容

上記のような研究を行い、その収集したデータを解析し、学会発表や論文発表をさせていただきます。これらのデータをもとにさらなる医療発展に努めます。従いまして、皆様に新たなご協力をお願いすることはありません。

6 本研究の実施期間

倫理委員会で許可された日～2026年12月31日

7 プライバシーの保護について

本研究で取り扱うご献体の個人情報には性別と死亡時年齢と死因のみです。その他の個人情報(氏名、住所、電話番号など)は一切取り扱いません。

本研究で取り扱うご献体の情報は、第三者にはどなたのものかわからないデータ(匿名化データ)として使用します。

ご献体の個人情報と匿名化データを結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。

なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

住所:〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地

電話:03-5363-3814(医局直通、平日 10 時~16 時対応)

担当者:慶應義塾大学医学部 形成外科学教室 特任准教授 土佐泰祥